

進路だより Together 第1号

進路に関する様々な取り組みや情報をお伝えします

令和8年9月
富山聴覚総合支援学校
進路指導部

令和8年度進路関係の行事予定

月	高等部	中学部	幼小学部
4月	進路希望調査、保護者懇談会（進路相談）		・保護者懇談会
5月		・学校見学会（中3）	
6月	・就業体験（高2-2, 3-2, 3-1）	・職場体験（中2）	
7月	・「特別支援学校就労応援団とやま」職場見学 （高1-2, 1-3：朝日印刷ビジネスサポート株式会社）	・オープンハイスクール （中3 希望者）	
8月	・就業体験（高1-1, 2-1） ・高校生就職ガイダンス（労働局主催 高3） ・オープンキャンパス（希望者）		
9月	・採用試験（高3）※9月～11月頃 ・就労応援団とやま 学校見学会 ・就労支援セミナー（労働局主催 高1、高2）	・学習体験受け入れ	
11月	・就業体験（高1-2, 1-3, 2-2, 2-3, 3-2）		
12月	☆「先輩に学ぶ」（ 中高生徒、保護者対象 ）・進路希望調査、保護者懇談会（進路相談） ☆「先輩保護者に学ぶ」（ 全保護者対象 ）※「先輩に学ぶ」終了後に実施		・保護者懇談会
1月	・就業体験（高3 必要に応じて）		
2月	・移行支援会議・移行支援連絡会（高3）・大学入試（高3）	・願書提出（中3）	
3月	・高校生就職ガイダンス（労働局主催 高2）	・入学検査（中3）	

実際の体験に基づく貴重なお話を聞くことができる、保護者の皆様のための行事です。たくさんのご参加をお待ちしております



○「特別支援学校就労応援団とやま」職場見学に高等部1年生が行きました。

企業の見学を通して、勤労意欲を高め、働く際に必要な知識・技能・態度を学ぶことを目的に、高等部1年生8名が6月8日（月）に朝日印刷ビジネスサポート株式会社を見学してきました。

会社の業務内容等の説明を聞いた後、社員の方に案内してもらい、パッケージ（箱）のデータ作成から、印刷、型抜き、糊付け、ダンボール詰めまでの製造工程を一通り見学しました。生徒たちは積極的に質問したりワークショップを体験したりと充実した時間を過ごしました。今後の進路学習にこの経験を役立ててほしいと思います。



○出前講座「法務ふれあい塾：あなたの大切な人と財産を守るために～遺言書や相続登記に関するお話～」がありました。

7月17日（金）本校会議室において、富山地方法務局の大町孝之氏による講座で、保護者及び教職員対象で行われ、自筆証書遺言書保管制度や相続登記について分かりやすく解説していただきました。

参加者の感想 抜粋

- ・子どもの将来のため遺言書の必要性を考えさせられました。一度、家族で話し合いたいと思いました。
- ・自分では普段あまり聞くことができない話題なので大変良い経験になりました。
- ・最近終活ノートを書いていたこともあり、今日の遺言書についてのお話がとても勉強になりました。
- ・分かりやすい資料とお話で、知識があまりなくても理解できました。

高等部 就業体験

6月3日～16日に、高等部2-2, 3-2, 3-1の生徒7名が、県内の事業所にご協力いただき10日間の就業体験を行いました。保護者の皆様には、体験の準備をはじめ、毎日の日誌の記入等ありがとうございました。事業所からの評価と生徒の振り返りを紹介します。 ★ご協力いただいた事業所★（50音順）

一般事業所	特例子会社
<富山市> ・株式会社アサヒセキュリティ ・株式会社不二越 ・とやま生活協同組合 ・富山総合ビルセンター株式会社	<富山市> ・株式会社ムラタコスモス 福祉サービス事業所 <富山市> ・就労継続支援A型事業所 いずみ ・就労継続支援A型ワークステーションさくら



○事業所からの評価を紹介します

- ・安心して作業を任せることができました。挨拶など積極的に出来たらより良いですね。（一般事業所）
- ・とても丁寧に作業に取り組むことができたが、集中力と持続力が課題だと思います。（福祉サービス事業所）
- ・日によって内容の異なる仕事をしてもらいましたが頑張っていました。挨拶がきちんと出来ていたのがとてもよかったです。（福祉サービス事業所）

○生徒の振り返り

- ・積極的に質問したり仕事をさがしたりすることが大事だと感じた。自分から上手く声をかけられるようにしたい。（一般事業所）
- ・作業が分からない時に優しく教えていただいた。食器を扱う時、衛生面に気を付けることが大切だと思った。（福祉サービス事業所）
- ・福祉の実習やパソコン作業等、いろいろな体験を通して相手のことを考えて行動することや責任をもって取り組む大切さを学ぶことができました。（一般事業所）
- ・挨拶や報告、確認を丁寧にすることの大切さを学びました。（一般事業所）



○知りたい情報 Q&A…保護者のアンケートより

Q1 卒業後の進路の種類や進路選択の流れが知りたい

A: 卒業後の進路には、進学、一般就労や福祉就労等があります。まずは進路希望調査をもとに、日頃の授業や学校生活での様子から、本人の得意なことや課題、働く上での可能性を丁寧に見ていきます。高等部では、学科により回数は違いますが2～6回程度の就業体験を経て進路先を決めていきます。就業体験先は仕事内容や職場の様子を保護者の皆さんにもお伝えし、本人の気持ちを確認した上で決めます。体験後は、事業所からの評価をもとに、本人の強みや今後の課題、仕事とのマッチングを確認し、次の体験に生かします。本人がどのような仕事で力を発揮できるか、どのような環境や支援があれば働き続けられるかを大切に、本人や保護者の皆様とともに一人一人に合った働き方を探っていきます。

Q2 一般就労と福祉就労の違いは？

A: 一般就労は、企業等と雇用契約を結び、企業の従業員として働くことです。一方、福祉就労には、主に就労継続支援A型・B型があります。A型は、福祉サービスを利用しながら事業所と雇用契約を結んで働きます。B型は、雇用契約を結ばず、本人の体調や状況に応じて、働く機会や必要な支援を受けながら活動します。違いは、雇用契約の有無だけではなく、仕事の進め方や勤務の仕方、困ったときに受けられる支援等にも違いがあります。

